

令和 7 年 4 月から令和 7 年 7 月に係る事業報告

I. 企画展

1. 総合文化芸術センター

(1) ギャラリー展示

①「市所蔵作品 版画作品展—秋野亥左牟・前田藤四郎二人展」

会 期：令和 7 年 7 月 3 日(水)～14 日(月) (※ 7 月 8 日(火)は閉室)

会 場：枚方市総合文化芸術センター ひらしん美術ギャラリー展示室 1 C

目 的：上記期間において、ギャラリーの利用が無かったため、市の所蔵作品の展覧会を開催。

内 容：絵本作家の秋野亥左牟、版画作家の前田藤四郎の二人展とし、2 人の版画作品を展示。

それぞれ 9 点、計 18 点のミニ展覧会。

入場者数：171 名（利用者による手書きカウントのため、正確な入場者数は把握していない）



2. 御殿山生涯学習美術センター

(1) TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ「Art de Peace」大阪・関西万博で絵じゃないか！

会期： 令和 7 年 4 月 19 日（土）～27 日（日）

会場： 御殿山生涯学習美術センター 1 階ギャラリースペース

目的： EXPO2025 大阪・関西万博の機運醸成。SDGs の啓発。

内容： TEAM EXPO2025 大阪・関西万博 共創チャレンジとして開催。

主催者である一般社団法人アートでピース de えじゃないか事務局が枚方市内の公立・私立幼稚園・保育所（園）・小規模保育施設・認定こども園に向けて「作品応募専用画用紙」を配布し「楽しい事／Happy！Dream！」をテーマとした絵を児童より募集。集まった全ての絵に「賞」をつけ、御殿山・菅原・楠葉・津田の各生涯学習市民（美術）センターで展示した。

展示作品： 約 400 点

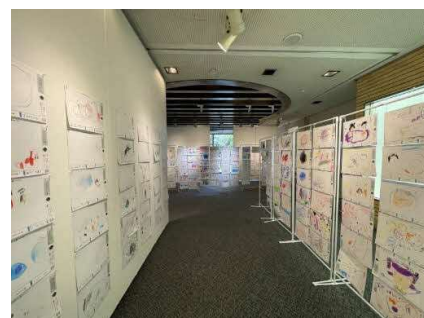
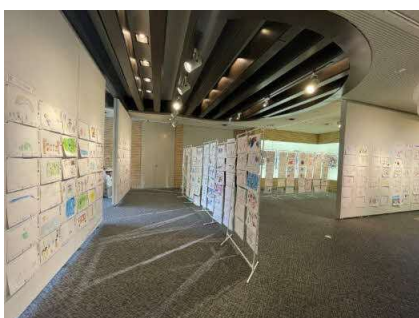
入場者数： 延べ 1,154 人※御殿山のみ

（会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5 で算出。）

備考： 主催：一般社団法人 アートでピース de えじゃないか事務局

共催：枚方市立生涯学習市民（美術）センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト

後援：公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会・毎日新聞社・枚方市・枚方市教育委員会



(2) 没後 60 年記念 矢野橋村展

- 会期： 令和 7 年 5 月 3 日（土）～6 月 8 日（日）
会場： 御殿山生涯学習美術センター 1F ギャラリースペース
目的： 矢野橋村の没後 60 年を記念して、市民に広く知ってもらうことを目的に企画展を開催。橋村の漢詩文の師・近藤尺天の篆刻も展示。会期中にマナビスト講座 2 講座と地域連携事業「キテミテ中之島 in 御殿山」を開催。
- 内容： 近隣住民が所蔵する作品を展示。南画 11 点、印章 23 点、書 4 点、墨画 1 点
展示作品： 【作品】《矢野橋村》六曲一隻「日蓮上人行状図」、軸「三寿図」（絹本着色）、
軸「秋山訪友図」（絹本着色）、軸「高士観瀑図」（絹本着色）、
軸「青緑山水図」（絹本着色）、軸「松壽鶴齡図」（紙本着色）、
軸「溪山高遠図」（絹本着色）、額「芳蘭図」（絹本着色）、
額「山徑樵夫図」（紙本着色） 等計 12 点
《近藤尺天》書 4 点「老子紅海語尺天幽人艸書」、「雲在音一行」、「尺天咏田家烟楯彦絵」、「題不明」、墨画 1 点「芝蘭寿石図」、印章 23 点
【書籍】『橋村作画集』（高島屋呉服店美術部）、吉川英治著『三国志』等計 9 冊
入場者数： 延べ 3,958 人
(会場出入口カウンター集計。集計方法は、カウント数値÷3.5 で算出)



Ⅱ. 講座

御殿山生涯学習美術センター

(1) 実技講座

① 実技講座 OPEN ATELIER 「“物語”をひらく」 (全 5 回) ※開催中

会期： 令和 7 年 5 月 ～9 月 各月最終土曜日 18 時～20 時 (全 5 回)

※最終日のみ 13 時～15 時

目的： 創作活動の普及や新規利用者の獲得を見据え、御殿山生涯学習美術センターでの創作活動が更に充実化する多彩なテーマを設定。学びの動機付けや創作室の利用促進を目的とする。

内容： シルクスクリーン技法を用いてアートフラッグを参加者と制作し、御殿山生涯学習美術センターや御殿山渚商店会等の地域一帯に設置。
アートフラッグの制作過程では、御殿山生涯学習美術センターに関連する作家の制作動機や人生、美術センターの歴史等の背景にある物語をリサーチし、「ヒト・モノ・コト」に関する御殿山ならではの特徴を探ります。リサーチからデザイン、シルクスクリーンの製版と捺染、アートフラッグの制作・設置まで一連のプロセスをアーティストと共に進めます。

【プログラム】

- 1 回目「きく・つくる」 デモンストレーション&身体を使ってアイデアを探す。
2 回目「つくる」 見つけたおもしろいカタチを描く。

3・4 回目「つくる」 シルクスクリーンの版をつくって刷ってみる。

5 回目「つくるをひらく」 アートフラッグをまちへ。

完成したアートフラッグをセンター周辺に設置後、改めて制作したアートフラッグを観て周り、参加者同士の交流を深めるためのクロージングイベント（交流会）を開催。

参加費： 5,000 円（材料費込み）

定員： 10 名

参加人数： 8 名

会場： 創作室 2

講師： ■招聘アーティスト：加藤至（かとう いたる）

1985 年大阪府生まれ。京都精華大学芸術学部卒業。

2008～12 年まで「Contact Gonzō」のメンバーとして活動。2009 年～アーティストグループでの活動を開始。2023 年より単独で活動を開始。身体を用いて土地を体験的に知るための遊び「フィールドプレイ」を各地で実践し映画、展覧会、パフォーマンス作品として発表する。平成 30 年度京都市芸術文化特別奨励者認定。

■アシスタント（技法等のフォロー）：賀門利誓（かもん としちか）

御殿山生涯学習美術センター職員

非公開

非公開

非公開

（2）マナビスト講座

①『もっと知りたい枚方ゆかりの美術家たち「近藤尺天と浪華の文人たち」』

開催日： 令和 7 年 5 月 18 日（日）

会 場： 御殿山生涯学習美術センター 2 階 ホール

講 師： 真鍋井蛙氏（日本篆刻家協会理事長）

目 的： 大阪美術学校創立者である矢野橋村が没後 60 年にあたり、橋村や同校関係者の認知度を広め、理解を深めてもらうことを目的に開催する。枚方にゆかりのある美術家にスポットをあてることで市民の地域文化に対する意識向上を図る。

内 容： 矢野橋村の漢詩文の師で篆刻家の近藤尺天の篆刻や書の特徴のほか、藤沢南岳など尺天と関わりの深い文人や、菅楯彦、生田花朝などの門弟たちについて解説する。

観覧料： 無料

定 員： 30 人

参加者： 40 人

非公開

非公開

②『もっと知りたい枚方ゆかりの美術家たち「キョウソンさんとぐるり-周辺からみた矢野橋村と大阪美術学校」』

開催日： 令和7年6月1日（日）
会 場： 御殿山生涯学習美術センター 2階 ホール
講 師： 藤本真名美氏（京都府京都文化博物館 学芸員）

目 的： 大阪美術学校創立者である矢野橋村が没後60年にあたり、橋村や同校関係者の認知度を広め、理解を深めてもらうことを目的に開催する。枚方にゆかりのある美術家にスポットをあてることで市民の地域文化に対する意識向上を図る。

内 容： これまで大阪美術学校関係者については、大阪での創作活動ばかりに目を向ける傾向があった。本講座では、和歌山など大阪の周辺地域に着目し、地方で活動が続けた画家たちの作品を通じて解説する。

観覧料： 無料

定 員： 30人

参加者 23人

非公開



Ⅲ. 市所蔵作品の展示

1. 枚方市総合文化芸術センター 市所蔵作品展示スペース

展示期間： 通年（2カ月に1回の頻度で展示交換）

目 的： 市民が芸術に触れる機会を広く提供するとともに、市所蔵美術作品等の有効活用を目的として実施。

内 容： ①令和7年4月2日（水）～6月2日（月）

テーマ「矢野橋村没後60年展示」

市所蔵の矢野橋村の作品を展示

〔絵画〕

「松溪來客図」「春山開花図」「滝図」

「高遊外」「飛瀑淅然」「山径画意」

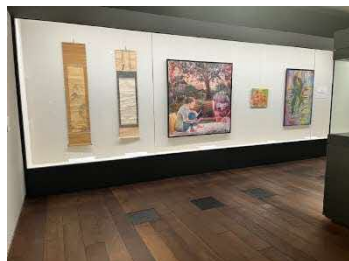
「秋堤帰牛」「高山流水」

〔立体ケース〕

矢野橋村の挿絵の下絵



②令和7年6月4日(水)～7月28日(月)



テーマ「令和6年度新収蔵作品を中心に」

〔絵画〕

玉本奈々「らせん」「コーヒーカップ」

奥村敬子「ツリーハウス in Autumn」

福岡青嵐「二宮金次郎」

福田青藤「山水画」

〔写真〕

田中幸太朗「出雲神話 八岐大蛇」

「無題」

〔立体ケース〕

フェルナン・レジェ「鳥と花」ブロンズ

番浦有爾「鷹」ブロンズ

2. 御殿山生涯学習美術センター ロビー展示ケース

展示期間： 通年（2カ月に1回の頻度で展示交換）

目的： 市民が芸術に触れる機会を広く提供するとともに、市所蔵立体作品の有効活用を目的として実施。

内容： ①令和7年4月1日(火)～6月2日(月)
②令和7年6月3日(火)～7月28日(月)

山本教行「黄釉縄文手付壺」

十三代中里太郎衛門「絵唐津茶盃」



非公開

①山本教行「黄釉縄文手付壺」



非公開

②十三代中里太郎衛門「絵唐津茶盃」

3. 枚方市役所 市役所別館1階 (Art Exhibition)

展示期間： 通年（2カ月に1回の頻度で展示交換）

目的： 市所蔵作品の展示。

内容： ①令和7年4月2日(水)～6月2日(月)
②令和7年6月4日(水)～7月28日(月)

矢野橋村「閑人處居」

吉井忠「新城の海」



非公開

①矢野橋村「閑人處居」



非公開

②吉井忠「新城の海」

IV. その他の事業

1. 御殿山生涯学習美術センター

(1) 利用団体へのロビー展示の貸出

- 会 期： 通年
- 目 的： センター利用者に創作意欲の向上や、利用者間の交流・活性化を促進する目的に、1 階ロビー壁面及び可動式壁面を展示スペースとして提供する。
- 対 象： 御殿山生涯学習美術センターを継続して利用する美術創作団体であり、1 団体につき、最大 2 週間を限度として貸出する。
- 申 込： 申込対象期間に受付、先着順に選定。募集周知は館内掲示など。
- 内 容： ロビー壁面に作品展示（平面作品及び立体作品）

展示期間	展示団体	展示内容
4 月 1 日 (火) ～ 4 月 13 日 (日)	桜会	ギャラリー個展「芋生義彦追悼展」と併催



展示期間	展示団体	展示内容
6 月 16 日 (月) ～ 6 月 29 日 (日)	創土クラブ	彫刻（塑像）



展示期間	展示団体	展示内容
6 月 30 日 (月) ～ 7 月 13 日 (日)	創美会	彫刻（木彫）、絵画、書



展示期間	展示団体	展示内容
7 月 14 日 (月) ～ 7 月 27 日 (日)	あいう絵油絵	絵画

(2) ギャラリー個展

- 目 的： 展示ガラスケースの活用の一環として、利用者や一般市民の個展開催のニーズに応え、創作への意欲を促進することを目的に提供する。

内 容 センター利用者、市民個人に対して作品発表の場を通年募集する。(先着順)
 令和7年度は会期2週間とし、年間7枠を設定。
 対 象： センター利用者、枚方市民（特にシニア世代）で展示実績のある方。
 申 込： 学芸員によるオファーで一般公募は無し（募集周知もしていない）。
 観覧料： 無料

① 第19回 芋生義彦追悼展 日本画 ロビー展桜会展と併催

会 期： 令和7年4月1日(月)～13日(日)



② 第20回 前田喜美子 写真展 写真

会 期： 令和7年6月16日(月)～29日(日)



③ 第21回 松本博文展

水彩ペン、墨、クレパス

会 期： 令和7年7月1日(火)～13日(日)



④ 第22回 小泉日緒里「不思議な世界の仲間たち」展 油彩

会 期： 令和7年7月15日(火)～27日(日)



⑤ 第23回 吉田雅子展

油彩、水彩

会 期： 令和7年7月29日(火)～8月3日(日)

(2) 地域連携事業 子ども向けワークショップ キテミテ中之島 2025 in 御殿山

開催日： 令和7年4月29日(火)

会 場： 御殿山生涯学習美術センター 1階 創作室2

講 師： 酒井沙織、ヨシムラリエ、鈴木ひとみ、玉登ゆかり

目 的： 大阪美術学校創立者である矢野橋村の没後60年にあたり、幼いころから橋村や同校について触れることで、家族で地域の歴史に親しみ、学ぶ場とすることを目的に開催する。

内 容： 矢野橋村の似顔絵等、御殿山地域の特徴を生かした子ども向けワークショップ。作品をセンターや商店会(6店舗)に展示。

没後60年矢野橋村展会期中も、会場にお絵かきコーナーを設置。

観覧料： 無料

参加者： 15人

主 催： 枚方市立御殿山生涯学習美術センター指定管理者 枚方まなびつながりプロジェクト

協 力： DESIGN DOT、御殿山渚商店会

似顔絵展示 影山弘樹

